

Piazza di Torcello —トルチェッロ広場

広場がどこから始まるか分からないので、広さは明確ではない。そこで、橋・樹木・運河などの自然条件と建築群全体とがうまく融合され、視野の中に入る位置を広場の始点とすると、広場のほうに延びた橋がこれに相当する。

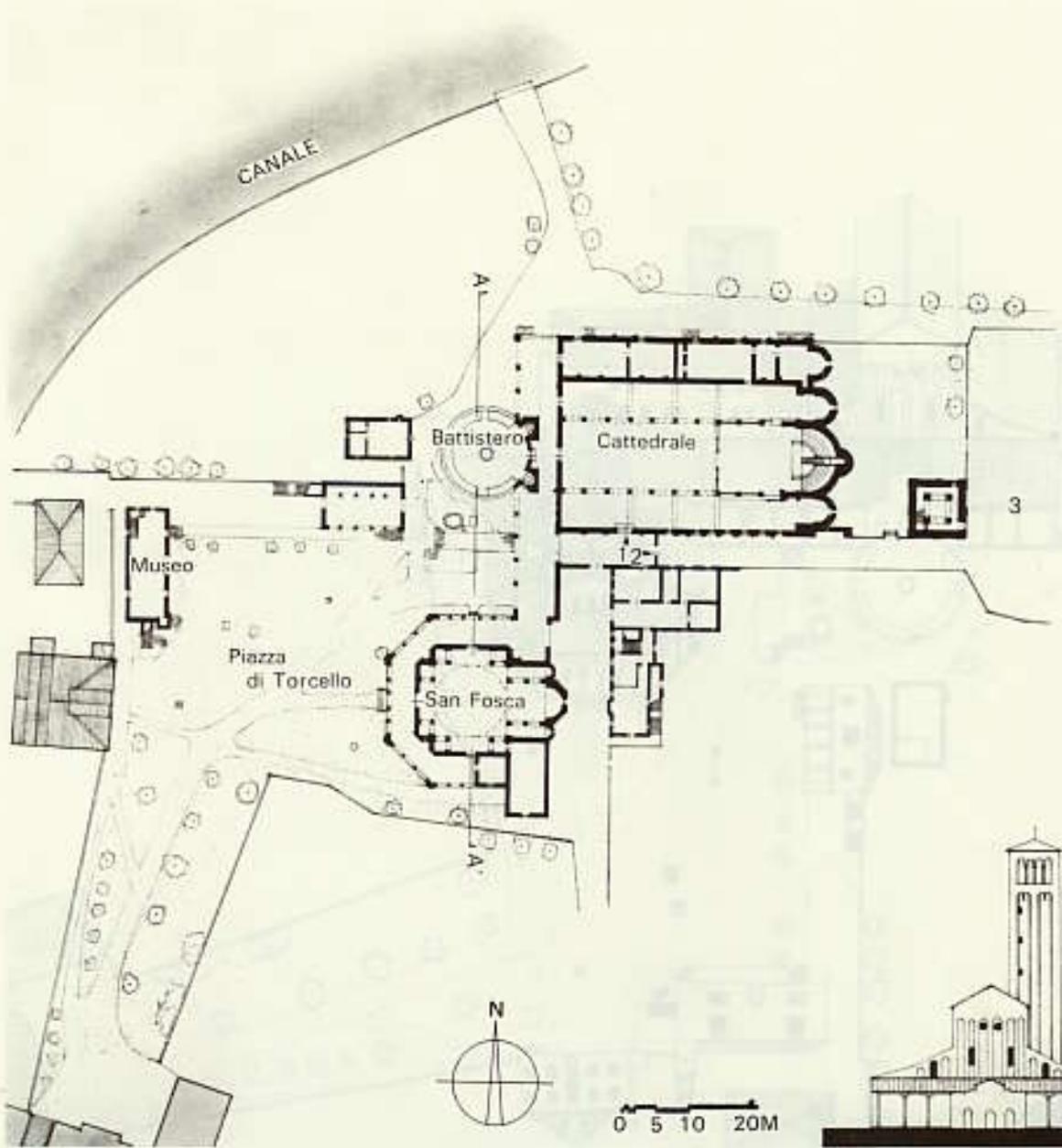
まず始点の橋の上に立つ芝生によって縁どられ、広場の奥へと続くカーブした道とその奥にある低い建物がみられる。道沿いにある樹木のため建物のファサードは見られず、塔のある建物のマッサが木々の間から望まれる。橋をくんだり土庫を売る屋台を見ながら先に進みカーブした道にさしかかると、三つの建物（カテドラーレ、サン・フィスカ教会、バティスタロの前の建物）のマッサが現われる。これらの建物の構成には、次のような特徴がみられる。

- 1—カテドラーレとサン・フィスカ教会がアプローチの軸線に対して偏向し、平行して建ち並ぶ。
- 2—カテドラーレはサン・フィスカ教会より下がって位置する。
- 3—カテドラーレとサン・フィスカ教会は、同じ5メートルの高さの突き出た軒で繋り、空間の連続性をもつ。
- 4—バティスタロの前の建物（グランド・レベルに道跡が置かれている）によって奥の広がり制限されている。

これらの四点によって、引き込まれるように自然に、カテドラーレの前に進んでゆく。この広場の、道跡が置かれた芝生に座って話している人は見られない。カテドラーレを見学した後、この後の原っぱで寝ころび、空想にふけったり、日向ぼっこをしたり、話しに花を咲かせている若者をよく見かける。

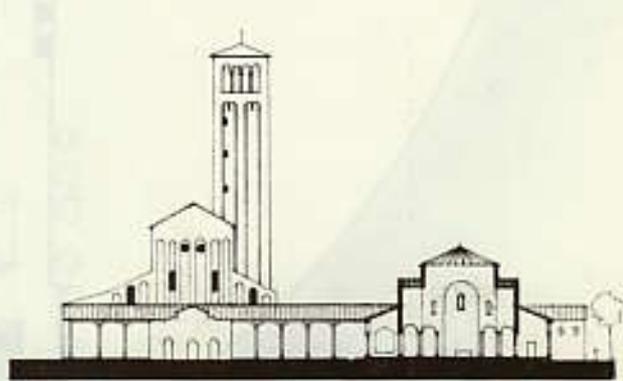
トルチェッロ島は、ヴェネツィアの海上、北東わずか10キロメートルのところにある。ヴェネツィアが繁栄する以前、452年にアッララ襲撃により本土から逃れてきた人びとが建設し、政治・宗教・商業においても、重要な町として栄えていたらしい。しかしこのことを現状から推測するのは難しい。まちは完全に破壊し、緑の沼沢地と化し、現在、トルチェッロ広場

の一角の建物（カテドラル、サン・フォスカの教会、邸宅など）だけが埋没を免れて残っている。したがってまちが存在していた頃、このトルチェッロ広場と称されている空間が、どのような意図でつくられ、活用されていたかは定かではない。また現在、まちが存在しない以上、生活に密着している一般的な広場としての機能も果たしていない。



- 1—カテドラルの出入口。
 - 2—座っぱに通じる道。
 - 3—座っぱ。
- 1—Entrance to cathedral.
 - 2—Passage to field.
 - 3—Field.

平面図、Plan.



A—A' 断面図、Section A—A'.



広場からカテドラル（中央）とサン・フォスカ教会（右）を見る。
View of cathedral (center) and San Fosca from piazza.



南側から美術館(左)を見る。View of museum (left) from south.



南東側から美術館(右)を見る。View of museum (right) from southwest.



カテドラル(左)とサン・フォスカ教会(中央)を見る。View of cathedral (left) and San Fosca (center).



東側(カテドラル側)から見る。View from east (cathedral side).



東側(カテドラル側)から見る。View from east (cathedral side).